

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～					
	施策	12 保育 ー子育てでも仕事もガンバル保護者を応援しますー					
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市プロジェクト					
主管課		こども・元気健康部 保育課				評価責任者	皆川 恒晴
関連課		障がい福祉課、子育て支援課、保健センター、学校教育課				評価日	令和6年6月1日
目標		保育を必要とする子育て家庭が、安心して子育てができ、育てる喜びも感じられるよう、関係機関と協議・調整を図りながら、多様化する保育需要に対応した保育環境の整備を進めます。					
施策目標の実現に向けた取組		(1) 保育基盤の確保・充実 ○保育所、認定こども園等への民間事業者の誘致により待機児童の解消に努めます。 ○民間事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の運営を促進し、多様な保育の場の提供を進めます。 (2) 保育人材の育成及び保育の質の向上 ○個々の保育ニーズを的確に捉え、保育園の健全運営の支援と質の高い保育の維持・向上に努めます。 ○小学校との連携や発育・発達に関する専門的支援の充実を進めます。 ○保育士の専門性を高める研修などを充実させ、適切な人材育成・配置に努めるとともに、安定した教育・保育の提供体制を確保します。					

2. 施策指標と達成状況 ※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	保育所待機児童数					
		説明	認可保育所への申込数から認可保育所に入所できた人数、復職の意思が確認できない育休中の人数、求職活動を休止している人数、特定の保育園等のみ希望している人数などを引いた真に保育を必要としている児童数。					
		単位	人					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	5	2	5	1	3	0
	指標2	指標名	病児・病後児保育実施箇所数					
		説明	保育を必要としている病気療養中または回復期の児童を家庭に代わって一時的に保育を提供する施設数。					
		単位	箇所					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	3	4	4	4	5
		実績値	3	3	3	3	4	5
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	2,590,783	2,716,410	3,508,226	3,522,420	3,444,169	3,451,536
	人件費	1,060,553	1,027,332	1,063,382	1,017,203	1,049,704	1,013,197
収入	特定財源	1,585,411	1,783,981	2,124,299	2,409,453	2,277,945	2,219,876
	一般財源	2,065,925	1,959,761	2,447,309	2,130,170	2,215,928	2,244,857

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	民間保育所の特色に応じた保育環境充実支援	民間認可保育所に対し、定員、保育士勤務年数、児童の年齢に応じた公定価格に基づき、支弁額を算出し委託料として支払う。また県補助金や、民間保育所等補助金交付要綱に基づく一時保育や延長保育、病児保育など市単独の補助事業を活用し、保育環境の充実を支援する。	民間認可保育園16施設、認定こども園2施設、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所5施設に対し、給付委託料に加え、病児保育事業補助を始めとした18種のメニューによる補助金を支援し、民間保育所の人的及び物的保育環境の充実を図り、保育の質を向上させた。	幼児教育・保育施設運営支援事業
取組②	待機児童解消に向けた入所選考事務の「質の向上」	保育所入所希望者の希望を最大限生かした入所選考事務を適切に行うため、ＡＩシステムに加えＡＩ－ＯＣＲを導入し、これまでのアナログ作業に要していた職員のマンパワーを、よりきめ細かい保護者に寄り添った支援に活用する。	入所選考ＡＩ－ＯＣＲシステムの基本情報読取りを活用し、入所事務の効率化をすすめた。	保育所入所事務
取組③	上野台保育所空調設備改修工事	酷暑が続く令和5年8月3日に上野台保育所の1歳児及び2歳児室の空調が停止した。早急に更新をする必要があるため予備費を活用して設計を実施し、第4回定例会にて空調設備改修工事費の補正予算（繰越明許費）を計上した。	令和6年3月に契約締結、4月下旬から始め、年内には施設内全体の空調更新を完了する予定で工事が進行している。	市立保育所管理運営事業
取組④	上野台保育所デッキ修繕	平成18年の建築後、風雪にさらされて腐食が進んでいたウッドデッキを改修した。	0歳児の中庭部分のウッドデッキは特に食が激しく使用を禁止していたが、改修したことでこどもたちが安全に遊ぶことのできる空間が増えた。	市立保育所管理運営事業
取組⑤	保育業務ＩＣＴ化推進事業	一人ひとりの育ちにに応じた保育や親支援の需要が増大する中で、一人の成長の記録や計画の作成、その理解や分析・評価を保育士間で共有する業務のＩＣＴ化を進めこれまで以上の保育の質の向上を図る。	民間保育所については、子ども・子育て支援に係る各種給付や補助金業務について給付管理システムを導入し、公立保育所については、登降園管理等ができる保護者用アプリを導入することで、保育業務のＩＣＴ化を進めた。	幼児教育・保育施設運営支援事業、市立保育所管理運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和5年4月には市内3か所目となる病児保育室が開設し、11月には病児の送迎保育事業も開始された。
おおむね順調	また、待機児童数については近年1桁台を推移しており（令和4年4月1日時点3人、令和5年4月1日時点0人）、平成26年度以降、積極的に民間保育園の誘致に取り組んできたことが実を結び、成果へと繋がっているものと考えている。
行政資源の活用	このように、本市では保育の受け皿が整ってきている状況のなか、更なる目標は市内保育施設の保育の質の向上となる。
適切	公立保育所では5月から登降園管理、出欠遅刻の連絡や一斉連絡などにＩＣＴを導入することで、保育業務の効率化と保育の質の向上に向けた地盤づくりとした。
取組の有効性	今後は、公私保育所関係者間の情報交換や、確認指導監査等を通して、多様化する保育需要に連携して対応していく必要がある。
おおむね有効	前期基本計画《前期重点プロジェクト》の一つである『子育てするならふじみ野市プロジェクト』の中核を担う本施策については、待機児童対策は勿論のこと、今後においても様々な取組みに挑戦しつつ、更なる安全・安心の保育環境を目指していくものである。
施策の効果	
大きな効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		家庭保育室運営事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 ー子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 01児童福祉総務費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	桑子 恵美
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		家庭保育室等運営事業費補助金実施要綱及びふじみ野市家庭保育室要綱		
事務 事業 の 内 容	事務事業の 目的	保護者の仕事や病気等の理由により、保育を必要とする未就学児童の保育を家庭保育室に委託することで保護者が安心して仕事等に専念できる環境を整えとともに、児童福祉の増進に資することを目的とする。		
	事務事業の 経緯	合併以前より本事業を実施しており、当時は市内に複数の家庭保育室が存在したが、現在はすべての家庭保育室が認可小規模保育施設に移行したことにより、市内の家庭保育室は存在しない。保護者が市外の家庭保育室を利用する際は、当該要綱に基づき事務手続きを行う。		
	事務事業の 概要	市は、家庭保育室に対して運営費等の一部を支払い、また、保護者の負担軽減を図るため、保護者が負担する基本保育料の一部を負担する。家庭保育室に入所できる乳幼児は、生後8週以上3歳未満の者で、その保護者が市内に住所を有し、市長が保育を必要としていると認めた健康なものとする。 平成31年4月に市内の家庭保育室はすべて認可施設へ移行したため、市内の家庭保育室はなくなった。保護者の事情により県内他市町村の家庭保育室を利用した際に、ふじみ野市家庭保育室要綱に基づき当該家庭保育室に対して運営費を支払う。また、保護者に対しては、世帯の所得に合わせた保育料の負担軽減を行う。		
	令和5年度の 主な取組	利用者がいないため実績なし		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	797	793	793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			797	793	793
事 業 費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		0	0	1,064
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		14	0	8
支出合計			811	793	1,865
財 源 内 訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	111
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		811	793	1,754
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			7	7	15

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	家庭保育室利用人数		
	説明	市が指定した県内他市町村の家庭保育室を利用した乳幼児の人数 ※市内に家庭保育室はなく県内市外の家庭保育室利用児童が対象となる。利用者はいないため、家庭保育室の需要は低下している。		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	実績なし
------------------	------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	平成31年4月に市内の家庭保育室はすべて認可施設へ移行し、市内の家庭保育室はなくなったため事業の方向性としては縮小とする。しかし、県内他市町村の家庭保育室の利用者がいた際は、引き続き、ふじみ野市家庭保育室要綱に基づき当該家庭保育室に対して運営費を支払い、また、保護者に対しては、世帯の所得に合わせた保育料の負担軽減を行う。
中長期的方向性	
縮小	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		保育所入所事務	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 ー子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	桑子 恵美
事務事業期間		昭和41年～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		児童福祉法、子ども・子育て支援法、ふじみ野市保育所入所児童選考委員会条例、ふじみ野市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例等		
事務事業の内容	事務事業の 目的	保護者の仕事や病気等の理由により、日中家庭で未就学児童の保育ができない場合に、保育所の利用についての相談に応じ、保育の必要性を判断し、入所できる保育所を決定する。		
	事務事業の 経緯	児童福祉法で保育所が位置付けられた昭和22年当時に比べ、女性の社会進出、共働き世帯の増加により保育ニーズは年々拡大され、これに対応するため本事務事業が設置された。		
	事務事業の 概要	①保育を利用するための申請書を受け付け、保育の必要性の認定及び入所できる保育所を決定する。 ②入所中の児童の保護者が入所基準を満たしているか否かの審査を行い、後者の場合は指導する。 ③入所中の児童の世帯の保育料の算定及び徴収を行う。 ④副食費免除対象者の決定を随時行う。		
	令和5年度の 主な取組	入所調整相談等を充実させ各家庭の保育ニーズに合った保育所を案内した。 令和6年4月入所の申請受付の際にLoGoフォームを活用し電話対応等の減少に努めた。 申請書等のOCR処理を活用した円滑な入所選考事務を行った。 保育所入所選考A I マッチングシステムを活用し入所選考事務を適切に行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	3. 30	3. 50	3. 60
		人件費	26, 285	27, 731	28, 523
	再任用職員	従事人数(人)	0. 00	0. 00	0. 00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	3. 00	2. 03	2. 00
		人件費	4, 908	5, 165	9, 036
	人件費計		31, 193	32, 896	37, 559
事業費	報酬※		3, 591	3, 714	5, 552
	賃金※		0	0	0
	需用費		1, 675	1, 763	2, 138
	委託料		6, 014	4, 078	12, 977
	使用料及び賃借料		665	653	571
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		131	81	186
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		1, 643	1, 793	3, 954
支出合計			40, 004	39, 813	53, 901
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	2, 920	3, 072	3, 104
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	17	0	10, 837
	一般財源		37, 067	36, 741	39, 960
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			325	322	340

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	保育所入所希望者数		
	説明	目標値は第2期ふじみ野市子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 実績値は当該年度12月1日時点の入所状況実施数＋入所保留児童数		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2,391	2,381	2,368
	実績値	2,441	2,453	
指標 2	指標名	認可保育所定員数		
	説明	保育所等利用待機児童数調査（4月1日埼玉県報告）に基づく数値		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2,400	2,450	2,450
	実績値	2,450	2,450	
指標 3	指標名	保育所待機児童数		
	説明	保育所等利用待機児童数調査（4月1日埼玉県報告）に基づく数値		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	3	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	保育所入所選考委員会への報告数値						
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年度
	新規申請	501人	474人	509人	556人	543人	513人
	継続申請	1,726人	1,769人	1,706人	1,681人	1,681人	1,736人
	令和5年12月1日現在（年度最終）の定員及び受入人数 ※数値は定員数、【 】内数値は受入人数						
	【市立保育所】						
	上野台保育所	130【96】	霞ヶ丘保育所	120【86】	新田保育所	90【69】	
	滝保育所	90【65】	大井保育所	100【80】			
	【私立保育所】						
	たんぼぼ保育園	120【123】	ふじみ野なかよし保育園	132【111】			
	かすが保育園	100【109】	風の里保育園	90【77】			
	ゆずり葉保育園	120【116】	麦っ子保育園	60【60】			
	亀久保ひまわり保育園	120【120】	たんぼぼ第二保育園	110【114】			
	三丁目すまいる保育園	60【59】	ふじみ野どろんこ保育園	102【95】			
	鶴ヶ岡すまいる保育園	102【109】	上福岡おひさま保育園	120【120】			
緑保育園	103【104】	子どものその苗間保育園	99【91】				
花の木なかよし保育園	120【99】	かびら保育園	75【69】				
【幼保連携型認定こども園】							
子どものその	120【113】	星和幼稚園	90【88】				
【地域型保育施設】							
いちご保育室（小規模保育）	6【6】	おともだち保育室（小規模保育）	18【18】				
たけっ子保育室（小規模保育）	19【11】	ひよこ保育室（小規模保育）	15【12】				
上福岡総合病院さくらんぼ保育室（事業所内保育）	5【4】						

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	保育所入所選考AⅠマッチングシステムによりアナログ作業に要していた時間の効率化は図れていたが、令和7年9月22日以降の保育システムの標準化（地方公共団体等の基幹業務等システムの統一・標準化（子ども・子育て支援））により、同様の入所選考が実施できるのか調査、研究が必要である。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市立保育所管理運営事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市プロジェクト		
施策 体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 ー子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	桑子 恵美
事務事業期間		昭和41年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		児童福祉法、ふじみ野市立保育所の設置及び管理条例及び施行規則		
事務 事業 の 内 容	事務事業の 目的	市立5保育所において、入所児童が安全で健康的に保育されるように保育環境を整え、保護者が安心して子育てしやすい環境づくりをする。 (上野台保育所、霞ヶ丘保育所、新田保育所、滝保育所、大井保育所)		
	事務事業の 経緯	昭和41年の上野台保育園の開園に始まり、最大で9保育所が設置され保育所管理運営事業を行ってきた (上野台保育所、西保育所、霞ヶ丘保育所、新田保育所、滝保育所、大井保育所、亀居保育所、鶴ヶ岡保育所、亀久保保育所)。その後、平成26年度に西保育所、亀居保育所、平成27年度に亀久保保育所、鶴ヶ岡保育所が閉鎖され、現在の5保育所に至る。		
	事務事業の 概要	入所児童が安全で健康的に保育されるように保育環境を整える。 児童福祉法に基づく保育及び施設の維持管理のための点検、修繕等を行う。		
	令和5年度の 主な取組	保育を必要とする子育て家庭が、安心して子育てができ、育てる喜びが感じられるよう、関係機関と調整を図りながら、様々な保育需要に対応した保育環境の構築に努めた。また、民間の保育施設と連携を図り、園外研修に参加するなどふじみ野市全体の保育の向上に努めながら保育を行った。 施設の維持管理のための適切な点検、修繕等を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	94.90	90.92	100.60
		人件費	755,879	720,360	797,054
	再任用職員	従事人数(人)	3.00	2.60	4.00
		人件費	15,813	13,492	20,756
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	72.08	74.00	92.20
		人件費	229,295	226,165	357,506
	人件費計		1,000,987	960,017	1,175,316
事 業 費	報酬※		169,825	162,236	218,003
	賃金※		0	0	0
	需用費		98,966	83,906	102,042
	委託料		39,646	9,109	5,846
	使用料及び賃借料		6,707	8,463	8,739
	工事請負費		42,108	0	26,959
	負担金、補助及び交付金		320	322	445
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		76,746	69,074	147,924
支出合計			1,206,010	1,066,962	1,327,768
財 源 内 訳	特定 財 源	国庫支出金	34,311	337	2,034
		県支出金	4,859	6,065	4,878
		使用料・手数料	2	2	3
		分担金・負担金	45,359	37,805	49,486
		地方債	41,300	0	0
		基金	4,658	0	25,966
		その他	28,681	32,591	42,037
	一般財源		1,046,840	990,162	1,203,364
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			9,173	8,674	10,252

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	安全点検施設箇所数		
	説明	市立5保育所の施設の安全点検を行う。 (上野台保育所、霞ヶ丘保育所、新田保育所、滝保育所、大井保育所) ※施設の安全・維持管理を表す指標として令和3年度より新規設定		
活動	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5	5	5
	実績値	5	5	
指標 2	指標名	市立保育所数		
	説明	ふじみ野市内にある公立保育所の数		
成果	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5	5	5
	実績値	5	5	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	内科検診 年2回 歯科検診 年1回 各種光熱水費の支払い <修繕> 上野台保育所デッキ、トイレ水漏れ、網戸、床はがれ、調理室回転窯、手洗水道、門扉、のぼり棒・ブランコ・滑り台・ジャングルジム、食洗器水漏れ、消火器交換 等 <施設維持管理> 電気工作物定期検査、消防設備保守点検、防火対象物定期点検、昇降機保守点検、日常清掃、空調機定期清掃、換気扇清掃、防虫、樹木管理、機械警備、厨房機器保守点検、固定遊具点検 等 <保育用備品（厨房機器等）購入> 冷風機、ガス回転窯、巧技台、椅子、テーブル、三輪車、プールカバー、ベビーゲート、炊飯器 等 施設修繕及び維持管理の実施、保育用備品の購入を行うことにより、保育所の適正な運営を確保することができ、これにより保護者が安心して子どもを預けることができる保育環境を提供した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成25年に滝保育所、平成27年に新田保育所及び大井保育所の耐震改修工事が完了している。耐震改修以外の大規模工事や修繕は未実施のため、施設の延命を図るための修繕を計画的に行う必要がある。 保育業務支援システムを活用し、登降園管理、遅刻・欠席等連絡機能、お知らせ一斉配信、連絡帳、園児台帳等の機能の更なる推進を図り、保護者の利便性の向上に努めるとともに、保育士等の業務負担軽減による保育の質の向上に努める。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		幼児教育・保育施設運営支援事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市プロジェクト		
施策 体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 ー子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	桑子 恵美
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		子ども・子育て支援交付金交付要綱（国）、安心・元気！保育サービス支援事業費補助金交付要綱（県）、ふじみ野市民間保育所等補助金交付要綱、ふじみ野市病児及び病後児保育事業実施要綱等		
事務事業の内容	事務事業の目的	保育を必要とする児童の保育を民間保育園に委託し、その運営に係る費用を委託料として支払うことで保育環境の充実及び向上を図り、これにより待機児童の解消を図る。 3～5歳児の保育所保育料や幼稚園等の施設利用料を無償化することで保護者の経済的負担を軽減する。		
	事務事業の経緯	令和元年10月からの保育料無償化（主に3～5歳児までの認可保育園、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等の保育料無償化）に伴い、令和2年度より児童福祉施設管外委託事業、幼稚園就園奨励事業、民間保育園運営支援事業を「幼児教育・保育施設運営支援事業」に統合した。		
	事務事業の概要	民間保育所等に対し、国の保育単価（公定価格）を基に、保育士の勤務年数や職員配置等の条件により基本分に加算をして支弁額を算出。委託料を支払う。 一時預かり事業、延長保育事業、障害児保育等は、国、県及び市単独の補助金を活用し、ふじみ野市民間保育所等補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。 無償化対象施設の利用者へ利用料を扶助する。		
	令和5年度の主な取組	委託料、補助金等の支払いにおいて、各要綱等に基づき適正な支出を行った。 市内社会福祉法人、地域型保育施設（小規模保育施設、事業所内保育施設）、認可外保育施設に対して指導監査や立入調査を行い、適切な施設運営のための指導及び助言を行った。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.10	2.46	2.70
		人件費	16,727	19,491	21,393
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			16,727	19,491	21,393
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		72	74	75
	委託料		2,441,174	2,571,905	2,974,436
	使用料及び賃借料		15,757	15,757	15,758
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		401,602	424,085	469,586
	扶助費		340,499	302,811	399,119
	その他事業費※		31,215	23,043	318
支出合計			3,247,046	3,357,166	3,880,685
財源内訳	特定財源	国庫支出金	1,317,589	1,285,117	1,514,419
		県支出金	637,310	633,103	873,217
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	159,759	176,337	162,410
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	1,180	45,447	0
	一般財源		1,131,208	1,217,162	1,330,639
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			9.912	10.662	11.337

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	民間保育園数		
	説明	ふじみ野市内にある民間の認可保育施設の数 (私立保育所16、認定こども園2、小規模4、事業所内1 計23箇所)		
成果	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	23	23	23
	実績値	23	23	
指標 2	指標名	病児・病後児保育実施箇所数		
	説明	ふじみ野市、富士見市及び三芳町で病児・病後児保育を実施している施設数 【実施施設：5施設】病児室つくしルーム（亀久保ひまわり保育園：ふじみ野市）、ポニー（ふじみのか びら保育園：ふじみ野市）、えと病児保育室（ふじみ野市）、針ヶ谷保育園病後児保育室（富士見市）、 病児保育室すこやか（富士見市）		
成果	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5	5	5
	実績値	4	5	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果		令和5年度委託料	令和5年度補助金	令和5年度補助金
				えと病児保育室 13,606,000円
	かすが保育園	137,590,570円	23,168,265円	
	風の里保育園	86,899,280円	18,654,500円	
	ゆずり葉保育園	129,307,000円	14,685,500円	
	たんぼぼ保育園	142,871,790円	19,739,116円	
	ふじみ野なかよし保育園	138,552,990円	8,402,212円	
	麦っ子保育園	93,924,430円	5,851,500円	
	たんぼぼ第二保育園	137,520,740円	28,499,490円	
	亀久保ひまわり保育園	132,482,210円	32,669,956円	
	三丁目すまいる保育園	127,475,210円	13,695,600円	
	ふじみ野どろんこ保育園	110,877,380円	23,369,071円	
	上福岡おひさま保育園	131,486,830円	32,190,631円	
	緑保育園	119,453,380円	19,056,400円	
	鶴ヶ岡すまいる保育園	125,596,110円	40,829,050円	
	子どものその苗間保育園	112,608,950円	14,656,400円	
	花の木なかよし保育園	113,007,920円	23,088,600円	
	ふじみのかびら保育園	103,230,330円	33,969,700円	
	子どものその	178,380,050円	12,842,309円	
	星和幼稚園	127,392,840円	9,716,500円	
	小規模保育事業	111,836,590円	5,109,931円	
	事業所内保育事業	10,242,530円	646,200円	
	市外保育所運営委託料	199,649,590円	0円	
	適正な委託費及び補助金の執行により民間保育所の適正な運営を確保するすることができ、これにより保 護者が安心して子どもを預けることができる保育環境の場を提供することができた。			

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	市内28の保育施設のうち23が民間保育所であり、民間保育所への依存度は非常に高くなっている。民間保 育所の増加による保育士確保のために処遇改善や労働環境改善を目的とした施策の更なる充実が求められ る。 民間保育所の保育環境の充実を図るため、引き続き国及び県の補助制度を活用し、適切な委託料等の支払 いを行う。
中長期的方向性	
拡充	